

# 2022年度 朝日医療専門学校広島校

## 第2回 学校関係者評価委員会

(委員)

氏名	所属	任期	種別
宮迫 太一	公益社団法人広島県柔道整復師会 常務理事	2022年4月1日 ～2023年3月31日	企業・業界団体
竹内 健治	岡山県立津山東高等学校 元校長	2022年4月1日 ～2023年3月31日	高等学校校長経験者
盛岡 政行樹	盛岡鍼灸接骨院 院長	2022年4月1日 ～2023年3月31日	学生の保護者
中村 崇弘	己斐なかむら鍼灸接骨院 院長	2022年4月1日 ～2023年3月31日	本校卒業生

評価項目別結果 1:不適切 2:やや不適切 3:ほぼ適切 4:適切

評価点	(1)教育理念・目標(教育理念、目標、育成人材像)		
	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
4	教育理念や教育目標等については、入学式等の行事での挨拶・学生便覧、校内掲示(1Fロビー、教職員室)、ホームページ上などで、学生・保護者に周知している。	今後も周知を継続していく。	特に問題なし。
	特記事項		
評価点	(2)学校運営(運営方針・運営組織・情報管理)		
	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
3	理事会・評議員会で決定した経営方針や事業計画をもとに学校長の指示の下、組織的に運営しているが、教職員への周知・徹底を継続する必要がある。 校内各委員会において、各期における行動計画を立案し、業務の進捗状況を適宜確認している。	期初だけでなく、様々なレベルの会議を通じて、理事会・評議員会の決定事項を教職員に周知するとともに進捗状況の報告・チェックを実施・継続していく。 また、組織として機能するために他部門の業務内容の理解をさらに深化させていく必要がある。	特に問題なし。
	特記事項		
評価点	(3)教育活動(目標設定、カリキュラム編成、成績評価、単位認定、資格取得の指導体制)		
	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
3	年間を通して補習・チューター体制を整え、継続的に指導を行った。また、月1回、3年生を対象に模擬試験を両学科とも行った。 新型コロナウイルス感染症に感染し、出席停止となった学生に対して、授業動画を録画し、オンデマンド配信を行った。 実技科目も感染対策を徹底しながら、コロナ禍以前の状態に戻すとともに、鍼灸学科においては担当職員を2名に増員し、丁寧な指導体制をとっている。	柔整・鍼灸学科ともに実質合格率の向上を目標に、今後も国家試験対策講義・補習等を継続していく。 次年度からは全学年がタブレット端末を用いた講義形式となることから、教材開発及び指導方法をより一層充実させていく必要がある。 また、基礎学力の低さが目立つ学生が徐々に増えていることから、より丁寧な指導方法・体制等を模索していく必要がある。	学生から「どのようにしたら、治せるようになるのか？」というような質問を受けることがある。学校という場合は、基礎基本となる知識・技術を学ぶ場であり、いわゆる治すテクニックを教える所ではないことを明確にし、その上で多様な学生に対応していけるような指導を継続してほしい。 学生実態の多様化、学力低下等の問題もあるかと思うが、粘り強く指導を継続してほしい。
	特記事項		

(4)学修成果(資格取得率、就職率、退学率、学生の社会的活動)			
3	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
	<p>就職希望者に対する就職率は100%を継続している。退学率に関しても5%未満を維持している。</p> <p>実質合格率を向上させるために、授業・補習等の取り組みをさらに向上させる必要がある。</p> <p>学生のモチベーションの向上や卒業後の将来像を考えるきっかけとなるように、外部講師による特別講義やゼミを開講しており、今後も継続していく。</p>	<p>実質合格率の向上や退学率5%未満を継続するためにも、成績不良者に対する面談や指導を継続していく。</p> <p>外部実習や外部講師による特別講義やゼミの展開の仕方をより一層精査し、学生の意欲換気につなげていく。</p>	<p>卒業(就業)して間もない年代の卒業生を講師として招聘し、Q&amp;A方式で特別講義を開催するような取り組みがあっても良いのではないかと。</p> <p>入学後早期に、第1学年に対して卒業生の講話等を聞く機会を設けることで、モチベーションを向上させる取り組みをしてほしい。</p>
	特記事項		
(5)学生支援(就職・進学支援、健康管理、学生生活・相談、保護者との連携、卒業生支援)			
3	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
	<p>担任を中心に面談・相談の体制をとっている。</p> <p>また、各科目担当者が講義中の学生の様子を会議等で報告し、必要な支援・指導につなげている。</p> <p>近年、在籍学生数が増加傾向にあることから、不安やストレスを感じている学生のサインを見逃すことがないようにする必要がある。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響が続くことが予想されることから、面談や普段のコミュニケーションを通して学生の状況を把握し、丁寧な指導を継続していく。</p> <p>また、新型コロナウイルスの世間の捉え方(5類引き下げ・マスク着用等)が変化しており、それに対応した教育活動を展開していく。</p>	<p>教職員が意図せず発した何気ない言葉が、学生がやる気を出すきっかけとなることもある。様々なボール(言葉掛け・指導)を投げかけながら、学生が意欲的に学校生活を送れるように指導を継続してほしい。</p>
	特記事項		
(6)教育環境(施設・設備等、学外実習、防災・安全等)			
4	課題	今後の改善方策	学校関係者評価
	<p>学生に対して行うアンケートの結果に基づいて随時改善を行っているが、概ね学生には不都合は起こらなかった。</p> <p>経年劣化が見られる共用部分や教室内の壁面の補修工事、トイレの抗菌コーティング、照明のLED化等を実施した。</p> <p>また、安全・防災面の老朽化対策も予算計上し、計画的に進めている。</p>	<p>自習室の使用法・設備に関する学生の満足度向上を図るため、各部門・各科で検討を進め、早期に実現していく必要がある。</p>	<p>学生の意欲・満足度が高まるように、様々な取り組み、仕掛けを今後も考えていってほしい。</p>
	特記事項		

(7) 学生の募集と受け入れ(学生募集活動、入学選考、学納金)			
課題	今後の改善方策	学校関係者評価	
4	<p>新型コロナウイルスの影響が、募集活動においても続いているが、コロナ禍以前の状態に戻りつつある。</p> <p>オープンキャンパスについては、感染対策を徹底しながら開催できており、高校生の参加者数の増加が入学者数の増加につながる傾向にある。</p> <p>特に後期(10~3月)に高校ガイダンスが増加していることから、積極的に参加することで、次年度以降の学生募集につなげている。</p>	<p>オープンキャンパス、高校ガイダンス、ホームページ、SNS等、様々な場面・媒体を駆使して本校の魅力・強みを伝える取り組みを一層強化していく必要がある。</p> <p>特にホームページ、SNSの閲覧をきっかけとして、オープンキャンパスへの参加、個別相談へつながることから、その見せ方等について研究を進めていく。</p>	<p>SNSの見せ方に統一感を出すなど、改善がなされており、非常に良くなっている。閲覧者がコメントを残すような工夫をする、さらに良くなると考えられる。</p> <p>即効性を求めるだけでなく、本校の魅力が伝わるように地道な取り組みをしてほしい。</p>
特記事項			
(8) 財務(財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開)			
課題	今後の改善方策	学校関係者評価	
4	<p>引き続き全体的な財務状況を意識しながら適切且つ正確な予算申請を実施していく。</p> <p>また、事業遂行の際には可能な限りコスト削減に努める。</p>	<p>特に問題なし。</p>	
特記事項			
(9) 法令等の順守(個人情報保護、学校評価)			
課題	今後の改善方策	学校関係者評価	
4	<p>公認会計士の監査を受け、評議員会および理事会で審議のうえ、現状は適正な財務状況であると承認を受けている。</p> <p>また、昨年度課題として挙げた施設面の維持管理については、定められた予算内で適切に遂行している。</p>	<p>今のところ大きな改善は必要ないと考えている。</p>	
特記事項			
(10) 社会貢献・地域貢献(社会・地域貢献、生涯学習、ボランティア活動)			
課題	今後の改善方策	学校関係者評価	
3	<p>地域住民を対象とした100歳体操の開催が滞ることもあったが、継続している。</p>	<p>今後も地域とのつながりを模索しながら活動を展開していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の世間の捉え方(5類引き下げ等)の変化に伴い、新たな取り組みについても検討していく。</p>	
特記事項			

## 総合的評価結果

特に大きな問題なく健全に運営されている。